

第277回教員会議・第176回研究科委員会 議事要録

日時：平成30年11月28日(水) 13:30～15:00

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

議題

教員会議

[審議事項]

1. 学類長

(1) 平成31年度の教員昇任と採用について

審査中の教員採用と推薦募集中の昇任人事を反映させた平成31年度(2019年度)の教員ポイント数がプロジェクター投影され、特任Bの採用が提案された。この提案は学類人事委員会で審議したものであることが説明された。

ポイント制の導入後も教授数に上限が設けられている理由など、ポイント制についての質問があり回答がなされた。一般教員(助教)を採用すること、一年任期として毎年更新審査をすること、など発言があった。環境放射能研究所の人事計画が紹介され、教員数の増加のためには新しい取り組みを計画して人員要求をすべきとの発言もあった。

審議の結果、特任B(准教授)を2022年度まで採用することを決定したが、環境放射能学専攻の設立時メンバーとして申請がなされているため、着任は平成31年6月を目指して調整を行うこととした。今後、教育研究院会議に提案し、環境放射能研究所との調整を行なう。

2. 入学試験委員会

(1) 平成31年度推薦入試合否判定について

回収資料に基づき、募集人数20名、志願者・受験者42名で実施した推薦入試で、21名(序列20番に同点者)を合格とすることが提案され、了承された。合格者のうち、福島県内高校出身者が12名、男性18名・女性3名、工業高校出身者が3名などの情報が提供された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 平成31年度海外派遣研究員の推薦について

資料1に基づき、1名をイタリアに派遣することを提案することが報告された。

2. 教務委員会(学生生活委員会)

(1) グループ・アドバイザーの選出について

平成31年度以降のグループ・アドバイザーの選出方法について報告があった。学生定員の減に伴いアドバイザーは8名となる。専攻ごとに選出していた従来の方法を改め、学類全体でのローテーション表を作成中である。今後、その表を元に学生生活委員会でアドバイザーを選出し、依頼を行なう。

3. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、共同研究1件・受託研究1件が報告された。

4. その他

学類長より、近日中に、電気ストーブの保有(使用)状況の調査、および研究費等の適正執行や安全管理を徹底させるための「学内業務実施状況の確認」の依頼があることが報告された。

研究推進戦略WGより、研究推進に関するアンケートへの協力が要請された。

研究科委員会

環境放射能学専攻の入試も含む議題のため、環境放射能研究所の教員2名が陪席した。

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 平成31年度大学院入試(2次募集)合否判定について

回収資料に基づき、大学院入試(2次募集)の合否判定を行なった。共生システム理工学専攻博士前期課程は志願者・受験者10名(一般入試8名・社会人特別入試1名・外国人留学生特別入試1名)より9名(一般入試7名・社会人特別入試1名・外国人留学生特別入試1名)を合格、同博士後期課程は志願者・受験者2名を共に合格、環境放射能学専攻修士課程は志願者2名・受験者1名(欠席1名)の受験者1名を合格とすることが提案され、了承された。

(2) 平成31年度共生システム理工学研究科(博士前期課程・修士課程・博士後期課程)第3次学生募集の実施について

資料2に基づき、平成31年2月28日を試験日とする3次募集を行うことが提案され、了承された。

教育研究評議会

第311回(11月20日開催)報告

[報告事項]

(1) モスクワ国立大学地理学部と環境放射能研究所との連携に関する覚書の締結について

連携の覚書が締結された。

(2) その他

平成30年度大学改革セミナーについて

セミナーが12月13日10時から開催される。